

ストーリーでCSRを語る

「ストーリーテリング」は、伝えたい思いやコンセプトを体験談やエピソードを引用し、聞き手に強く印象付ける手法だ。

英国では、これを「サステナブル・ストーリーテリング」として、CSRの社内浸透、消費者・コミュニティとのエンゲージメントに活用することが注目されている。

「ストーリーテリング」の例として、世界銀行が有名だ。

90年代後半、元世界銀行のプログラム・ディレクターが、世銀の中にナレッジマネジメントシステムの構築を考えた。その際に、従来のプレゼンテーションでは耳を傾けてもらえず、最後の手段として使用したのが「ザンビアのマラリアの治療法に関するストーリー」だった。

このストーリーに世銀内部は共感、巨大組織が動き、中核

となるシステムが構築された。

ユニリーバの「サステナブル・リビング・プラン」は、企業が直面している成長と持続可能性の両立を目指した2020年までのビジネスプランで、製品のライフサイクル全体を目標に含み、自社、サプライヤー、物流業者、消費者の環境負荷にも責任を負う。これは持続可能性プロジェクトを彼らのストーリーとして展開し、共感呼びながら社内外へのコミュニケーション・エンゲージメントを推進している。

ここで一番重要なのは、「自分が打ち立てた将来のストーリーを信じ、情熱を持って伝えること」だ。ぜひ熱意を持って社内外の変革を進めてほしい。

しもたや・たけし CSRコンサルタント
欧州と日本のCSRの懸け橋となるべく2010年サステイナビリティをロンドンに設立、代表取締役。英国イーストアングリア大学環境科学修士、ランカスター大学MBA。

第6回目
開催決定!!
開催地：東京

英国 IEMA 認定 サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習

この資格講習は、英国の主要団体であるIEMA(The Institute of Environmental Management and Assessment)の公認の資格であり、世界で通用するCSR資格です。本資格講習は世界各地(シカゴ、ニューヨーク、ワシントン、サンフランシスコ、アトランタ、トロント、ブリュッセル、ドバイ、アブダビ、アテネ、クアラルンプール、東京、大阪)で既に実施されており、世界5大陸で現在約500人の資格保持者がいます。本資格を取得することにより、組織内外でのCSR計画・戦略・プログラムをより効果的に実施することができるようになります。また、CSRスキルアップ・キャリアアップに活用することができます。



レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた2日間の集中プログラム

- CSRと気候変動に関する世界の関連法規
- ステークホルダーの特定
- サプライチェーンの持続可能性
- グリーン&コーズマーケティング、グリーンウォッシング
- CSRを事業へ統合する方法
- カーボンフットプリント戦略とライフサイクルアセスメント
- CSR世界基準・ガイドラインとCSR報告書の作成

資格講習受講者の声

- 受講前に期待したことは全て満足でした。①これまでCSRを担当してきた業務対応が外部の観点から見て正しかったか。②CSRの総括した講習を受けたかったこと。③異業種の方々のCSR取り組みスタンスを知りたかったこと。(コニカミノルタホールディングス株式会社 前CSR推進部部長)
- CSRのROIの考え方のヒントを得たこと。ビデオを用いた実践的学習の手法を学んだこと。Green Washingなどの新しい概念を学んだこと。人権に関して新しい知見を得たこと。CSRの最新トレンドについて学べたこと。(カシオ計算機株式会社 CSR推進室室長)

◆ 日程 ◆ 2013年6月13日(木)・14日(金) ◆ 場所 ◆ 東京 ◆ 定員 ◆ 15名 定員になり次第締め切りとさせていただきます。



講師 サステイナビジョン 下田屋 毅



ゲスト CSE ニコソン・アヴロナ

サステイナビジョンは、英国の主要団体 IEMA 公認トレーニング団体である。Centre for Sustainability and Excellence (CSE) と戦略的パートナーシップを締結。IEMA 公認資格である「サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習」を日本で開催しています。

お問い合わせ・申し込みはウェブサイトから www.sustainavisionltd.com



サステイナビジョン
在英日本商工会議所会員企業

Web : www.sustainavisionltd.com/ E-mail : infojp@sustainavisionltd.com

携帯からもウェブをご覧頂けます!

